※令和４年度以降入学生用

学校番号	1014

令和８年度　教養科

教科	教養	科目	国際文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界遺産を通じてさまざまな国の文化や歴史を学ぶことにより､世界をより身近に理解することをめざします。前期・後期とも中間考査を行い、期末は調べ学習と発表により評価をします。

2　学習の到達目標

世界遺産について学び、理解する。
世界の文化の違いを知り、より深い学びのために自分で調べ、発表する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界遺産について知る。 世界遺産とは何か、また学習した世界遺産について理解し、説明することができる。	世界遺産について学んだことについてより学びを深め、自分で調べて発表することができる。また、自分の意見を含めて他者に発信することができる。	世界遺産について興味を持ち、積極的に調べることができる。自らすすんでさまざまな国の文化に関心を持ち、調べることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	遺産1	オーストラリアのグレートバリアリーフについて学ぶ	a:グレートバリアリーフについて学習し、理解する。 b:オーストラリアの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等
	遺産2	インドのタージマハルについて学ぶ	a:タージマハルについて学習し、理解する。 b:インドの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等
	遺産3	イタリアのヴェニスについて学ぶ	a:ヴェニスについて学習し、理解する。 b:イタリアの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等
前期期末	発表1	世界遺産を選び発表する	a:自ら興味のある世界遺産を選び、調べることができる。 b:自分で選んだ世界遺産について発表することができる。 c:積極的に調べ学習および発表に取り組む。	発表	発表	発表
後期中間	遺産4	フィリピンの棚田について学ぶ	a:棚田について学習し、理解する。 b:フィリピンの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等

※令和４年度以降入学生用

	遺産5	カナダ・アメリカのヘッド・スマッシュト・イン・バッファロー・ジャンプについて学ぶ	a:ヘッド～について学習し、理解する。 b:カナダとアメリカの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等
	遺産6	ポーランドのアウシュヴィッツ収容所とナチス・ドイツについて学ぶ	a:アウシュヴィッツ収容所について学習し、理解する。 b:ドイツの文化を学び、日本との違いについて考える。 c:すすんで理解しようと積極的に取り組む。	定期考査	定期考査	提出物等
後期期末	発表2	世界遺産への旅行計画を立てて発表する	a:自ら興味のある世界遺産への旅行計画を立てることができる。 b:自分で立てた世界遺産への旅行計画を発表することができる。 c:積極的に調べ学習および発表に取り組む。	発表	発表	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度